

秋の縄文野焼き作品展

炎に咲く縄文の花たち

【会期】2017年12月1日【金】～2018年2月25日【日】



大地から天へとたちのぼる炎がやがて静かにほどけると、新たな命を宿した作品たちが姿を見せる——。咲き誇る花々のように生命のよろこびに溢れた造形は、縄文スピリットに感応する作者たちの心が躍っている姿そのもの。

『秋の縄文野焼き祭り』で焼き上げられたかわいらしい土偶やユニークな土面から、堂々たる火焰型土器、そして精緻な創作縄文土器まで、魂のこもったたくさんの作品——日々縄文に学び腕をあげている館の陶芸教室生たちの力作や、地元の井倉小学校の生徒らの豊かな発想の作品などが一堂に並びます。今回の企画展では、秋の野焼き祭りで表彰された縄文野焼き大賞など4賞の受賞作品をはじめ、それぞれに縄文の心と技を凝らした縄文野焼き作品約60点を展示。また、猪風来による赤漆塗り現代縄文土偶シリーズも併せて特別展示いたします。どうぞご覧ください。

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月・火曜(休日は開館)/年末年始
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アート of 創始者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

